

発掘！使える  
アクセサリ

## Officeが無い？「ワードパッド」があるでしょ！

Windowsの「アクセサリ」を知っていますか。いろんなソフトと私たちユーザーの架け橋となるオペレーティングシステム（OS）のWindowsですが、その中にいくつかのソフトを最初から持っています。「ペイント」「電卓」などは皆さんもよくご存知だと思います。市販ソフトのような高度な機能はありませんが、最低限の機能があり、簡単な事を簡単にできます。今回は「アクセサリ」の中の「ワードパッド」をご紹介します。Windows 3.1以前は「ライト」と言えば分かる方ものでは・・・

### 「知らないから使えない」「知っているけど使わない」あなたはどっち？

皆さんは「ワードパッド」をご存知ですか？「メモ帳」は使っても、「ワードパッド」は使った事がないという方も多いと思います。それは、きっと「メモ帳」と「ワードパッド」、「ワードパッド」と「Word」の違いが分からないからではないでしょうか。「Word」があれば「ワードパッド」は使わないかも知れませんが、存在と機能を知っていれば、きっとどこかで役に立つはずです。Windowsに最初から付いているソフトです。折角ですから機能を理解しておきましょう。

### 「メモ帳」以上、「Word」未満

「ワードパッド」と「メモ帳」との違いは、文字修飾が可能、印刷プレビューができる事があげられます。そして、文書の中に画像を貼り付ける事もできます。「メモ帳」より「Word」に近い存在です。ですが、簡易ワープロソフトという位置づけですので、この他にはあまり機能はありません。検索、置換、箇条書き、タブの設定ぐらいです。「Word」のようにヘッダーフッターやページ番号、段組などの機能はありません。でも、普通の文書を作成するくらいなら、十分な機能を備えてると思いませんか。

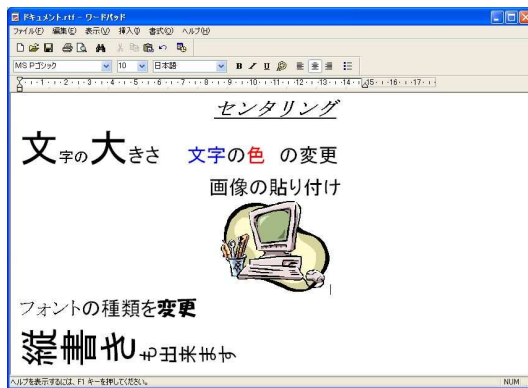
### 違いが分かれば、使い分けもできる！

文字修飾の方法は「Word」と同じです。文字を選択して「書式」から「フォント」を選択するか、書式バーの各ボタンをクリックするだけです。でも選択できる文字色の数が「ワードパッド」では黒を含め17色に限定されています。「タブの設定」はルーラーをクリックするだけで「Word」と変わりはありません。でも設定できるタブは左揃えタブだけです。「箇条書き」の行頭記号は「Word」のように種類は選べず、●だけです。でも、「メモ帳」と比べれば、すごく高性能と言えます。今まで「メモ帳」を使用していた方は、「ワードパッド」を一度使ってみませんか？



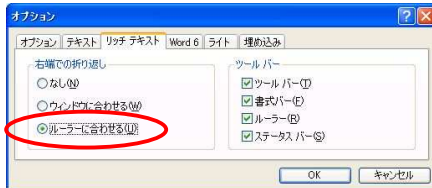
### 保存形式に気をつけて

「ワードパッド」で作成した文書は基本的に2つの形式で保存できます。テキスト形式とリッチテキスト形式です。テキスト形式で保存すると、レイアウトや文字修飾の情報がなくなってしまいます。フォントやレイアウト等の情報がプラスされるリッチテキストファイル(拡張子「rtf」)で保存しましょう。(環境によっては、Word文書として保存できる場合もあります。)



書式バーから、フォントや文字色、レイアウト、箇条書きの指定ができます。◎マーク付きのフォントを選べば縦書き文書も作成できます。

もうひとつ気を付けるのが、文字の右端での折り返しの設定です。「ウインドウに合わせる」と「ルーラーに合わせる」があり、「ウインドウに合わせる」ではウインドウの幅の中でセンタリングなどをしますので、編集画面と実際に印刷されるレイアウトが違う事があります。「表示」の「オプション」で「ルーラーに合わせる」を選択しておきましょう。一番上の画像では、「ウインドウに合わせる」の設定になっていますので、画面の中央に「センタリング」の文字が表示されています。でも、印刷するとちゃんとセンタリングされて印刷できます。「なし」を選ぶと改行するまで折り返しがされません。



### 普段はWord、でもいざとなったら・・・

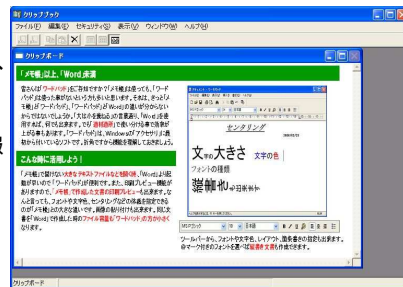
「Word」や「一太郎」がある環境で、あえて「ワードパッド」を使用する必要はありませんが、いざという時のために使い方を知っておいて損はありません。「ワードパッド」が活躍する場はまだあるはずです。「Word」がインストールされていないインターネットカフェでの文書の作成など。「ワードパッド」で作成した文書を開けないWindowsは無いのですから。

## クリップボードの不思議

「クリップボード」または「クリップボードビューア」をご存知でしょうか。Windowsで作業中、私たちはテキストや画像、ファイルのコピー、貼り付けなど、実に様々なコピー、貼り付けを行います。コピーするものと貼り付けるものが違うソフトの間でも、簡単にコピー、貼り付けを行っています。これはどういう事なのでしょうか？

実は、Windowsでは、コピーしたものを一旦「クリップボード」に保存します。そのクリップボードに保存されたものを貼り付けしているのです。この「クリップボード」の内容を見るのが「クリップボードビューア」です。

「クリップボード」は実に万能で、先に書いた通り、テキストでも画像でもファイルでも、何でもコピーできます。コピーする情報は実に多岐に渡り、例えばWord文書の、赤い太文字をコピーした場合、文字の色や文字の太さなどの文字修飾の情報も



同時にコピーします。貼り付けられるソフト側は、その沢山コピーされた情報の中から、自分が扱う事のできる情報を取得して貼り付けます。貼り付け先が例えばメモ帳であった場合は、文字修飾の情報は扱う事ができないため、テキストだけが張り付き、エクセルなどの場合は、文字修飾の情報も取得して赤い太文字が張り付きます。

このように、「クリップボード」は複数のソフトからアクセスできる、一種の共有メモリのような役割をします。私たちはそんな事を特に意識する事無く、コピー、貼り付けの作業を行います。興味のある方は、「クリップボードビューア」で「クリップボード」を覗いて見てはいかがでしょうか。(アクセサリシステムツールの中にあります。ない場合はWindowsのCD-ROMから追加インストールできます。)

クリップボードで唯一の欠点と言え、コピーの履歴を保存できないと言うことです。コピーできるのは常に1つだけで、新しいものをコピーすると、今までコピーされていた情報はすべて破棄され、新しい情報に上書きされる事です。それでも素晴らしい機能に間違いありません。

## 開発室から

先日、自宅のパソコンにワイヤレスマウスを導入しました。まだ1週間しか経っていませんが、感度に問題は無いようです。でもひとつだけ気になる事が・・・。「電池の持ち」です。光学式マウスなので赤い光が出ているのですが、「使っていない時はちゃんと消えているのだろうか」と気になって仕方ありません。机との隙間をじっと見たり、時々動かして光り具合を確かめたり・・・。なんだかんだで1時間以上もマウスと睨めっこをしていました。

